



日本共産党・前県会議員

2021年8月30日

# 加藤なを子



## 県政へのかけ橋 活動レポート

発行：日本共産党・加藤なを子事務所

<連絡先>藤沢市藤沢2-3-2

TEL.0466-25-4776 FAX 25-4761

### 「何十もの病院に断られてやっと6時間後、入院先が決まった。」

「40度近くの高熱と酸素飽和度92~94%程度が1週間続いても入院できなかった。」

神奈川県の新型コロナウイルス感染症の累計感染者数は8月10日、10万人に達しました。

感染力が従来株より2倍強いデルタ株におき変わる中、何度も過去最多の新規感染者が発生するなど感染爆発が起り、救急医療や通常医療の必要な人が入院できないなど深刻な医療崩壊になっています。県は、12日、重症病床を199床から213床に、さらに16日には225床まで増やしましたが、16日の重症患者は202人に上り、225床に対する病床使用率は89.7%でなお逼迫状態が続いています。



また、現在、自宅療養者が1ヶ月前に比べ10倍となっています。16日には12,685人になりました。さらに深刻なのは、本来入院すべき人が入院できず、自宅で待機する人が急増していることです。15日には、入院を待っている人は109人に上りました。

#### ==== 日本共産党神奈川県議団は知事と健康医療局長に申し入れ ====

◆医療提供体制を拡大し、原則入院ができるようにすること。

◆国に早急なワクチン供給を求め、接種を早急に進めること。

◆保健所体制を強化すること。

◆人流抑制のためにパラリンピックの中止を国に求めること。

◆検査を抜本的に拡大し、感染の拡大を防ぐこと。

#### なを子の花だより

#### 今週はムクゲ

#### 花ことばは「信念」



ムクゲの花ことばは「信念」です。ドキュメンタリー映画「パンケーキを毒味する」では菅政権を掘り下げ、痛烈にその正体、本質を明らかにしていました。呆れて、怒って、少し苦笑……。菅首相のしたたかな二面性がわかります。権力を手に入れることを着実に狙い、その力でお金を動かすことを「信念」としてきたのです。赤旗日曜版編集部の取材、国会での切り込んだ追い詰める論戦など政治が身近に感じられる内容でした。



マイクロ  
プラスチック

～～陸地から～河川や水路へ  
相模湾沿岸へ～魚介類へ～

相模湾沿岸に漂着マイクロプラスチック  
神奈川県環境事業センター池貝・三島・小林

プラゴミによる海の汚染は深刻になっています。私たちが口にしている魚介類からも検出されているのです。

神奈川県環境科学センターでは、相模湾の汚染環境を市民参加で分布調査を行なっています。以前、県内5か所で実施した調査では、場所によってマイクロプラの材質が違ってくるようになりました。藤沢市や平塚市では、家庭用品など製品由来の割合が高く、小田原市の酒匂川河口は、発泡スチロールや肥料のカプセルなどが多かったそうです。やはり河川から海に運ばれているということではないでしょうか。

辻堂海浜公園に人工芝のグラウンドが完成しましたが、靴でこすれて破片が海に流れるから中止してほしいと要望が寄せられました。土のグラウンドより利用者は使いやすいからとなりますが、海の環境悪化に繋がります。繰り返し私も県議会の委員会でもとりあげ、その後も県議団がとりあげているのは、引地川への除塵機（塵や土砂などを取り除くために使用する機械）の設置ですが、海にプラゴミを流さないようにすることに県も責任をもって取り組むことが必要です。もちろん、住民や企業に環境への影響を十分に理解してもらい、排出しないよう、取り組んでもらうことが必要です。

介護保険料を納めていても??  
またまた負担増!

### 8月から施設入居者の食費・居住費の負担軽減制度(補足給付)の改悪が

8月から介護保険の「補足給付」が改悪されます。「補足給付」とは、施設入居者の食費・居住費に関する負担軽減制度のことです。

「住民税非課税世帯」に「補足給付」が行なわれていましたが、年金収入120万円を超えている方の食費負担を増やします。また「資産要件の強化」も行なわれます。ショートステイも「補足給付」段階第2段階～第3段階の②の方まで食費負担が増えます。所得の少ない方に負担増を押し付けるのはとんでもないことです。

毎月何万円も負担が増えることで支払いが困難になり施設を出て行かざるを得ない人をつくり出します。共産党はホテルコスト（居住費、食費にかかるコスト）導入時からこの仕組みに反対し見直しを求めてきました。

この改悪による影響について政府や行政が調査を行なうよう求めています。安心して介護が受けられないのでは福祉とはいえません。早急に改善を行うよう求めています。